

アイデア部門

メディア芸術

進化ルート

井堀将希 / 東京福祉福祉専門学校 IT医療ソーシャルワーカー科

概要

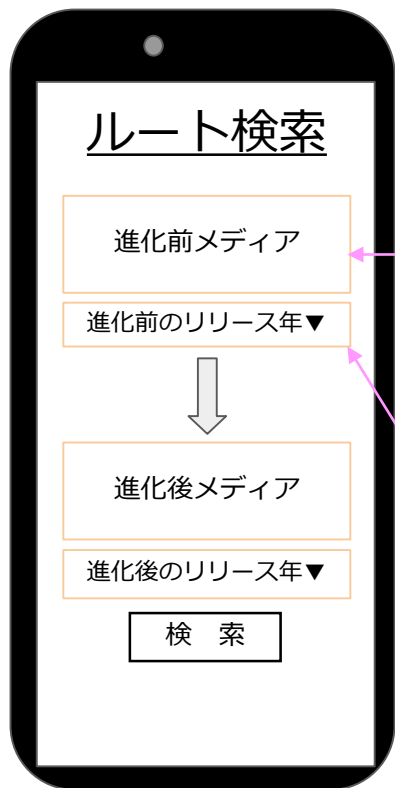
- メディア芸術の進化ルートを知れる見つけられるデータとアプリ

→もともとマンガだったものが、アニメ化したり、映画化したり、小説化したり、ドラマ化したり、舞台化したり、ゲーム化したりするものを「進化メディア芸術」ということにします。「進化メディア芸術」はゲームがのちにマンガ化したりすることもあります（逆のルートもあります）。

→近年、進化メディア芸術が増えています。実際に私たちも、キャストやストーリーが変わって、別のメディアになる進化メディア芸術を好んでチョイスしています。進化メディア芸術に特化して、見つけられるデータ&アプリがあると便利です。

概要 (つづき)

アプリでの検索画面



メディアのリスト

- * マンガ
- * アニメーション
- * ゲーム
- * ノベル
- * ドラマ
- * 舞台

西暦年を入力する
(未入力でも検索できる)

★ キーワード検索もできる

★ 「ウマ娘」というキーワードだけでは
見つからない進化メディア芸術があった！



エントリーでのメディア芸術データベースの活用方法 (データセット分析部門は、どのデータセット・項目を使用したかを記載)

- 進化前メディア芸術の「メディア芸術データベース」から
(ベースとなる) 作品タイトル・IDを取得する。
↓
- Wikipediaで、作品タイトルを検索し、ほかのメディアに進化しているか調査する。あれば、進化時期・媒体名をIDに紐づけ記録する。
↓
- 進化メディア芸術を、進化前と進化後のルート別 (マンガ→アニメ、マンガ→ドラマ など) に見つけられるデータ&アプリができる。

エントリーに用いた外部データ（使用した場合のみ記載）

参考にした外部データ

タイトル：進化した漫画データベース（アニメ・映画・ドラマ・舞台化した漫画）

URL： <http://linkdata.org/work/rdf1s5247i>

新規性・社会的価値等のアピールポイント

● 進化メディア芸術索引

→メディア芸術データベースの「すべて」で（既に知っている）あるコンテンツのタイトルを検索すると、展開しているメディア・タイトル数がわかります。本件は、それをさらに発展させて、**進化**のルート別に索引ができます。

→「マンガ原作のドラマが見たいな」と思えば、『マンガ→ドラマ』・リリース年で、ルート検索すると、新しいメディア芸術との出会いがあります。

水平展開・発展可能性など今後の可能性

課題

- 2.5次元舞台が人気です。今後、舞台データベースがあると、連携できてなおよいです。
- 今後、ドラマデータベース（テレビドラマ・動画配信サービスのドラマを含む）があると、連携できてなおよいです。

発展性

→最初はゲームをしていたが進化したマンガを読んだり、最初はドラマで見ていて原作マンガがあることを知って読んだり、進化ルートを辿る楽しみ方が活発化しています。進化メディア芸術のルート別索引・ルート別検索（データ）の必要性が高まっています。